

風の色

西郷の風力発電を考える



2020年10月30日発行
vol.1

はじめに

8月21日の日本海新聞に、鳥取市に大型の風力発電施設の建設が予定されていることが報道されました。風力発電は「自然エネルギー」として環境にいいイメージがあり、事業者もCO2削減による地球環境の保全やまちおこしによる地域経済の発展などのメリットを強調していますが…本当にそうなのでしょうか？

山や川の豊かな自然に恵まれ、穏やかながらも確かな地域のつながりの中で暮らしてきた西郷地区。これまで郷土の自然を活かした【魅力ある村づくり】を目指し『ギャラリーあっちこっち』を開催したり、近年は『工芸の郷』としても多くの来訪者や移住者を惹きつけています。この地区の将来のため、地域にとって本当に必要なものは、大事なものは何か、この機会に一緒に考えてみませんか。

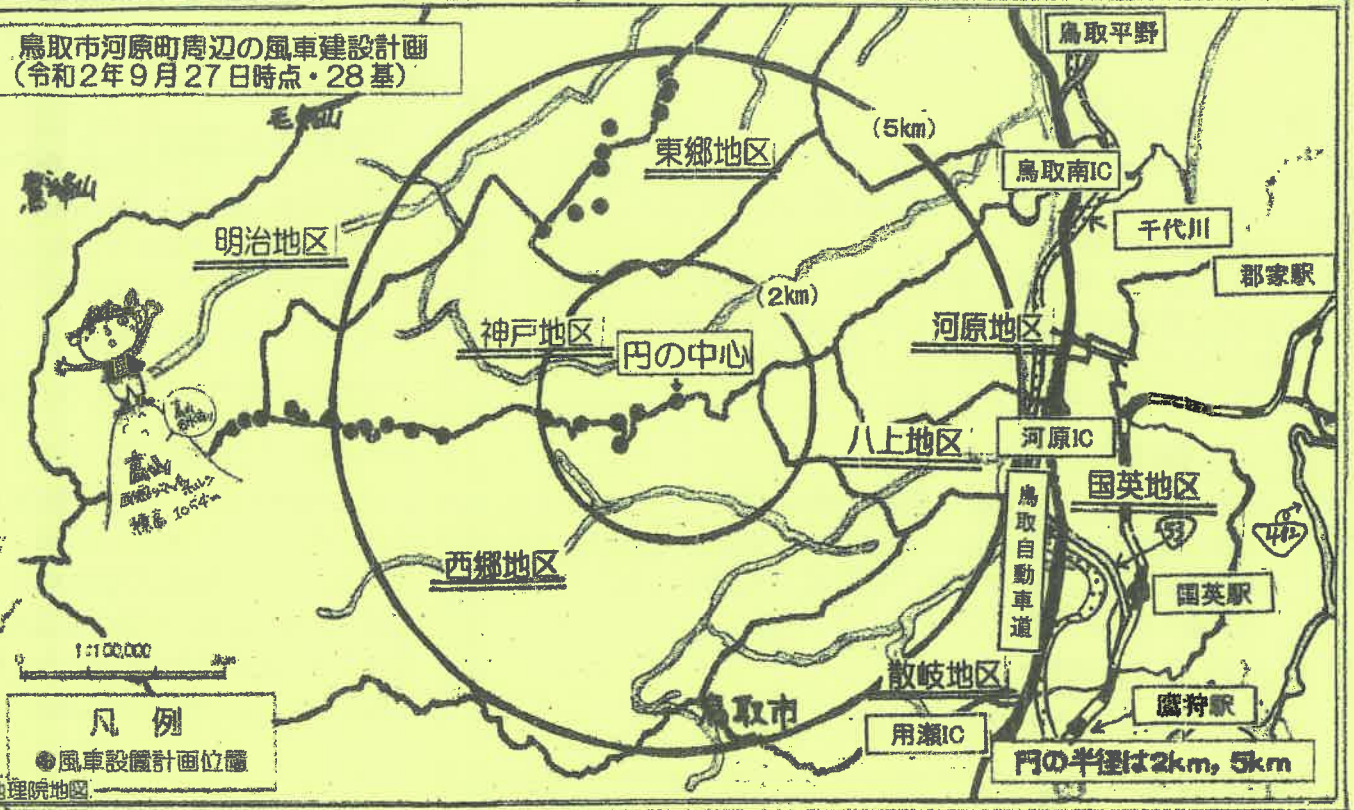
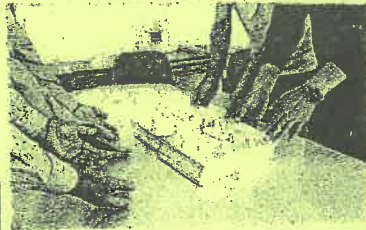
西郷地区の風力発電に関する動き

8月の新聞記事などをきっかけとして、大規模風力発電の計画に不安を抱いた西郷地区住民有志は、「西郷の風力発電を考える会」を立ち上げました。これまで話し合いや勉強会を重ね、鳥取市全体の計画撤回を求める署名活動も行ってきました。西郷地区では先日、立地予定地の一つとなっていた北村地区が計画を受け入れないことを表明し、いなば西郷むらづくり協議会は業者に対して計画に関する質問状を提出しています。現在業者は、鳥取市内の東郷、神戸などの地区で風車の建設計画を進めています。

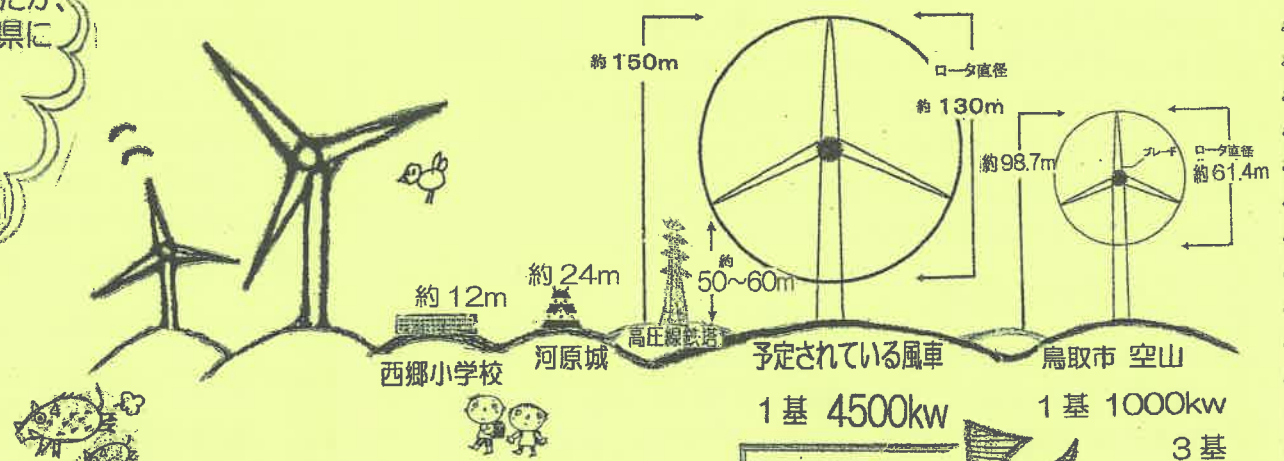
このニュースレターでは
① 今回の計画の概要と、
② なぜ私たちが西郷地区の風力発電建設計画に懸念を抱いているのか、その理由を改めて考えてみたいと思います。

署名の報告とお礼

明治地区の呼びかけによる『(仮称)鳥取風力発電事業』計画を白紙に戻すことを要望する署名は、10/28時点で約14,000筆集まりました。今回鳥取市はこれを受け取りませんでした。皆様にご協力いただいた署名は今後鳥取県に提出するため現在準備を進めています。現在『風力発電施設に関するガイドライン策定』を求める署名も同時に集めています。どちらの署名も引き続き、ご協力よろしくお願いします。



＝構造物の大きさ比較＝



河原町内、西郷地区に「風力発電事業」が計画されていることをご存じでしょうか？
風車による健康被害や自然環境・景観への影響は、西郷地区を超え周辺の地区でも心配されます。
河原町内の問題として情報共有できたらと、今回の配布に至りました。

空山の風車に対して
高さ1.5倍
出力4倍

西郷地区周辺に 18基

神戸・東郷・明治地区合わせて
28基

どんな計画？

建てるのは誰？

シンガポールに本社を置く「ヴィーナ・エナジー」という会社の日本法人。その風力開発部門「日本風力エネルギー株式会社」が設置事業を行い、西郷に配布された『ふうしゃだより』を発行している。建設された風車の運営は、この会社がさらに「鳥取風力合同会社」を設立して行う。

どこに建てる？

今回の事業は「(仮称)鳥取風力発電事業」と名付けられ、西郷・明治・東郷・神戸地区に計 28 基の建設を計画。西郷地区には、明治・神戸地区との尾根沿いに 18 基の建設が予定されている。

どんな風車が建つ？

陸上で日本初めてとなる規模

問題点は？

健康被害（騒音、低周波）

日本国内の例では、風車の半径 2km 内に居住する住民の約 3割が騒音・睡眠障害を、半径 1km 内では約 41%が睡眠障害、63%が騒音被害を訴えています。（久留米大学、石竹、日本衛生学会誌、2018年）しかし行政や事業者の対応はないのがほとんどで、訴訟の勝訴事例もありません。

土砂崩れの危険

9月末に降った大雨では曳田川が大幅に増水し、三滝付近では土砂崩れが起こり道が寸断されました。風車を作るには森林伐採に加え、山を削って巨大なコンクリートの柱を地中に埋める基礎工事を行う必要がありますが、削られた斜面が土砂崩れの原因となる可能性も考えられます。



← 三滝付近で起きた土砂災害



西郷小学校校歌に景観が歌われており改めて聞き入って『いい歌詞だなあ』と感じました。

校歌にも歌われているこの景観が失われてしまうかもしれません。

景観への影響

巨大な風車・建造物が狭い範囲に乱立し、夜中も赤いライトが点灯するため、移住者や訪問者にも好まれる西郷地区の自然景観が大きく変化してしまいます。

自然環境や生態系への影響

風車建設のためには1基につき 1.5ha の土地、さらに風車設置を目的とした林道建設のために広範な森林が伐採されます。また「バードストライク」と呼ばれる、風車に対して鳥が衝突して命を落とす被害が多数報告されています。建設予定地の森林には稀少猛禽類も確認されており、過去には絶滅危惧種のイヌワシも観測されているため、生態系への影響が懸念されます。



← 20年後…



負の遺産になる可能性

これまで、途中で事業者が代わるなどして風車が適切に管理されなかったケースが報告されています。また、計画どおり事業が終わっても、山に戻せない跡地や道路は土砂崩れの危険性を内在させたまま居座り続け、土地所有者に管理者としての責務が生じかねません。

今後の掲載

『風の色』vol.2以降、今回取り上げている問題を掘り下げていこうと思っています。



これからの西郷地区のために

事業者は風力発電がまちおこしや観光資源になると説明していますが、立地予定地のすぐ近くに住む住民にとっては、騒音などの被害によりこれまでの土地に住み続けられなくなる切実な不安があります。

たとえ風車が目に見えない場所であっても、半径 5km 以内には健康被害の可能性があるとされています。

既に決まっていた西郷地区への移住を、風車への不安からとりやめられた方もおられます。

にもかかわらず最近まで、事業者はほとんどの住民に対して計画を知らせていませんでした。

自然を利用して作られるエネルギーとはいえ、住民生活への配慮を欠き、西郷地区の魅力に惹かれ移り住むことを考えておられた方にも再考を迫るような計画が、本当にこの地区にとって良いものなのでしょうか？

世代を超えて手渡されてきた西郷の人と自然のつながりを、持続可能なものとして未来へつなげていくためにはどうしたらよいか一人一人考えていく時期に来ているのではないのでしょうか。

西郷の風力発電を考える会では、それを地区のみなさんと一緒に考えていけたらと思っています。今後も勉強会や女子会などを予定しています。

ぜひ多くの方に関心を持っていただけたら幸いです。



△ 西郷の風力発電を考える会 △

【日時】毎週土曜 【時間】15時～ 【場所】よりしろ（本角）

☆ 西郷女子会 ☆

【日時】11/5（木）、12（木）、17（火）、26（木）
【時間】12:15～14:30 【場所】えばこ gohan さん

発行：西郷の風力発電を考える会（代表：谷長潔）
協力：Saigo nature mini（西郷女子会）
問い合わせ：メール：fromsaigo@gmail.com
※ SNS でも情報を発信しています



鳥取市内の大型風力発電建設を考える Facebook

～河原町西郷地区からの声～